

## 短

## 信

(三)

倉

橋

惣

三

## 保姆諸君と園藝趣味

いゝ季節になりましたな。ときに、あなたの御趣味は……。それはもう多方面であらつしやるに相違ありません。殊にモーター——悪口じやないのですよ——なところに、私達古いものゝ知らない澤山の趣味もあありでしやう。いづれも結構ですが、私は一つ、幼稚園保姆として季節柄似合ひの趣味をちすゝめして見たい。それは園藝です。趣味をすゝめるなんて、われながら無趣味な言ひ方ですが、まあ聽して下さう。

私は始終申してゐることですが、幼稚園保姆のは、たゞらきには、子どもの生活へ參加してゆくことに、子どもを生活へひき入れて來る必要もあります。生活へひき入れて來るには、先づ、そこに生活が行はれてゐなければなりません。つまり、あなたが、先づ自分の生活をしてゐなければなりません。生活といふのが大げさなら仕事と言つてもよろしい。いづれにせよ、其の場合一番肝心なことは、あなた

が御自分の趣味を以て、その仕事に身を入れてゐることです。此の場合、子どもをひき入れる力は、仕事そのものよりも、あなたの生活態度にあるのですからね。われ笛吹けども君踊らず、といふ言葉がありますが、お役目で吹いてゐる笛では、誰れだつて連れられようもありません。しかしね、いくら自分に面白い笛だからといつても、子どもが、ついてゆけないような節では、子どももたかく立つて聞いてゐるだけでしよう。そして、仕舞にはほかへ散つて行くでしよう。つまり、その仕事があなたの趣味に出づるものでなければ駄目なのです。尤もね、いくら御自分の趣味だからといつて、幼稚園の保育と無關係のフランス刺繡に夢中になつてゐたり、一段と實用的にビーズ細工の手さげなんか編んでゐるのでは、如何に美術的だといつても、それでは勤務上餘りに美的生活になり過ぎます。そこで、幼稚園保姆と園藝趣味といふ結びつきになつて來るのです。園藝ならば子どもの興味にもあふことすし、小さい手でお手傳ひ——即ち生活参加も出来ることすし、それに、幼稚園の庭がきれいになることすし、ら。

但し、園藝趣味の正面論は私が更めて説くまでもないことです。それよりも言つて見たいのは、幼稚園の保姆諸君が、案外此の園藝趣味をもつてゐられないのではないかといふことです。第一、あなたはどうですか。それはね、園藝趣味にもいろ／＼缺點はあります。お顔が日にやける、大事な手か土にある。之れは誠に恐るべき大缺點かも知れませんが、しかしそれは、つば廣の經木帽子を紅紐か

なんかで白い頬へ結び、浮世繪にある早乙女の意氣な手甲の代りに古手袋でもお用ひになれば、いくらでも防げることでしよう。のみならず、そうしたあなたの後姿を花壇の間に見ることは、又格別に美しいものです。

話は兎に角どうぞ、是非一つはじめませんか。なんですつて、保育が忙しくて暇がありませんつてなにを言つてゐらつしやるです。そこに立派な保育が出来てくるのぢやありませんか。

若し夫れ、——手を洗はないで其のまゝ聞いてゐて下さい。——自ら發達する自然を、その自然の理に従つて育て、ゆくといふ、幼児教育の第一原理のこゝろを、その園藝の中に味ふといふ愉快に至つては、それこそ、花も實もある趣味といふものではありませんか。

私がこんなことを考へてゐた時に、神戸の幼稚園に大層園藝趣味のある若い保母さんのゐらつしやる話をききました。實際一々お訪ねしたら各園に澤山ゐらつしやることでしよう。